

不妊治療（先進医療）受診等証明書

年 月 日

坂東市長 様

医療機関所在地
名 称
主治医氏名
(署名又は記名押印)

次のとおり、保険診療の生殖補助医療と併せて先進医療を実施し、これに係る医療費を徴収したことを証明します。

医療機関記入欄

(フリガナ) 受診者氏名	夫	()	妻	()
生年月日・年齢		年 月 日(歳)		年 月 日(歳)
治療期間※ 1	年 月 日～ 年 月 日(妊娠確認日又は治療を中止した日)			
妊娠の有無	有 ・ 無			
治療ステージ	A・B・C・D・E・F・G・H ※治療ステージの詳細は、裏面参照			
保険診療について	今回の生殖補助医療は保険診療ですか。 ☐ はい →右記の治療回数を記入 ☐ いいえ →補助対象外です。		保険診療による治療回数 今回の治療は保険適用 _____ 回目	
領収金額	今回の治療に係る領収金額合計※ 2 円		左記のうち、 <u>先進医療</u> に係る領収金額 円	
上記治療期間中に実施した先進医療				
医療技術名		実 施 日※ 3		領 収 金 額
子宮内膜刺激術（SEET 法）		年 月 日		円
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養		年 月 日		円
子宮内膜擦過術（子宮内膜スクラッチ）		年 月 日		円
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術（PICSI）		年 月 日		円
子宮内膜受容能検査 1（ERA）		年 月 日		円
子宮内膜受容能検査 2（ERPeak）		年 月 日		円
子宮内細菌叢検査 1（EMMA/ALICE）		年 月 日		円
子宮内細菌叢検査 2（子宮内フローラ検査）		年 月 日		円
強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術（IMSI）		年 月 日		円
二段階胚移植術		年 月 日		円
タクロリムス投与療法		年 月 日		円
膜構造を用いた生理学的精子選択術		年 月 日		円
着床前胚異数性検査 1		年 月 日		円
着床前胚異数性検査 2		年 月 日		円
☐ 当医療機関は、実施した先進医療の実施医療機関として承認されています。				
☐ 上記の先進医療について、保険適用となる体外受精又は顕微授精と併用して実施しました。				

※ 1 採卵準備又は凍結胚移植を行うための投薬開始等を行った日から治療終了日までを記載してください。
なお、治療終了日は原則として、妊娠判定日又は医師の判断に基づき治療を終了した日ですが、これ以外の場合は、医師が治療の終了と判断した日を記載してください。

※ 2 体外受精及び顕微授精に関する費用についてのみ記載し、食事療養費標準負担額、個室料、文書料等の不妊治療に直接関係のない費用は、含めないでください。

※ 3 実施日が複数にまたがる場合は、実施の開始日を記載してください。

(裏面)

体外受精・顕微授精の治療ステージ

治療 ステージ	治療内容	採卵まで			採精 (夫)	受精 (前培養・媒精 (顕微授精)・培養)	胚移植						(妊娠の 確認 (胚移植のおおむね 2週間後))
				採卵			新鮮胚移植		胚凍結	凍結胚移植			
							胚移植	黄体期補充療法		(自然周期で行う場合 もあり)	薬品投与 (自然周期で行う場合 もあり)	胚移植	
A	新鮮胚移植を実施												
B	凍結胚移植を実施												
C	以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施												
D	体調不良等により移植のめどが立たず 治療終了												
E	受精できず、または胚の分割停止、変性、 多精子受精などの異常受精等により中止												
F	採卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が 得られないため中止												
G	卵胞が発育しない、又は排卵終了のため中止												
H	採卵準備中、体調不良等により治療中止												